

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	ゲノム医療研修コース（インテンシブコース）（テーマ②）
対象職種・分野	がんゲノム医療に従事する大学院生(医師)、遺伝カウンセリング養成課程修士学生
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	・ゲノム医療を含む次世代がん医療の実践者、研究者、スタッフ ・認定遺伝カウンセラー・臨床遺伝専門医を目指す人材
修了要件・履修方法	・がん診療に携わる医療従事者で、事前に履修を届けでる。 ・講義による研修形式。セミナーの11回中7回の受講と、<u>実習1回参加をもって修了とする。</u>
履修科目等	1. 遺伝子診療部教育セミナー ○臨床遺伝学総論 計4回（臨床遺伝の基礎、家系図、遺伝子検査法、次世代シーケンサーを用いたゲノム解析、遺伝子診療ガイドライン、 ○遺伝子診療・ゲノム研究各論 計7回（遺伝性腫瘍、遺伝性神経・筋疾患、遺伝性皮膚疾患、遺伝性血液疾患、遺伝性難聴、小児遺伝性疾患、出生前診断、不妊症、遺伝カウンセリングの理論、遺伝カウンセラー教育など） 2. エキスパートパネルへの参加と二次的所見に対する<u>ガイドラインやバリエーション解釈（実習）</u> 計1回
がんに関する専門資格との連携	臨床遺伝専門医（日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会）の研修施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	・臨床遺伝学の基礎を習得し、<u>がんエキスパートパネルにおける二次的所見の検索・解釈の実際を体験する</u>（新規性） ・がん領域のみならず、広く遺伝性疾患を捉えることによって遺伝性腫瘍における遺伝学的検査や遺伝カウンセリングの重要性について理解できる（独創性） ・診療科横断的にゲノム診療についての情報共有やネットワーク形成が可能（診療科横断的）
指導体制	・遺伝子診療部の兼担診療科（遺伝科、小児科、産婦人科、腫瘍内科、乳腺・内分泌外科、血液免疫科、）とそれ以外の臨床各科（皮膚科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科など）などの各領域の専門医が連携して指導する。
修了者の進路・キャリアパス	・ゲノム医療を含む次世代がん医療の実践者、研究者、スタッフ